

(一般情報)

## ドローン空撮で地力を見える化、可変追肥で収量向上！

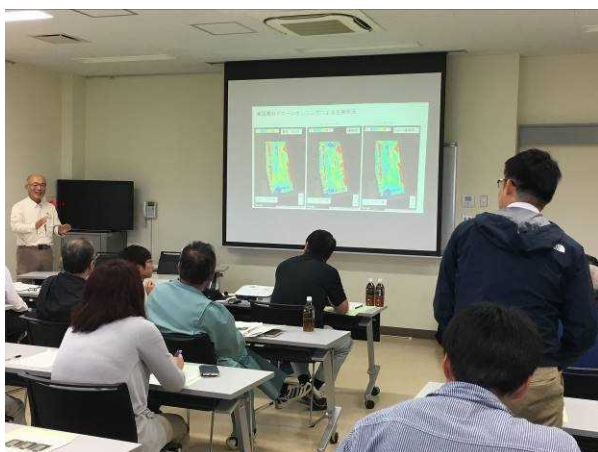
～スマート農業現地検討会の開催～

千葉農業事務所改良普及課 令和元年7月19日発

千葉農業事務所では、7月12日、やちよ農業交流センターでスマート農業技術に関する現地検討会を開催したところ、生産者と関係機関、計46名の参加がありました。

検討会では、水稻の生育量をあらかじめドローン空撮で可視化した地力MAPを基に、地点ごとの地力に合わせて、無人ヘリで追肥を行う技術(可変追肥)を紹介しました。なお、当日は雨天のため、可変追肥の作業は後日改めて実施しました。今回のドローン空撮では、同一ほ場内でも生育量のばらつきが大きいことが具体的に地図上で示されました。参加者からは「こうした新技術を活用して、収量・品質を今よりも向上させたい」という声が上がりました。

農業事務所では、今後もスマート農業技術の普及を図り、集落営農組織や地域の担い手に対して、収量・品質の向上や省力化を支援します。



ドローン空撮で作成した地力MAPの説明



無人ヘリでの可変追肥の様子